

ヨナ書 第3章 9節

「もしかすると、神が思い直してあわれみ、その燃える怒りをおさめ、私たちは滅びないですむかもしれない。」

神は思い直すかもしれない。思い直してあわれみ、怒りをおさめ、滅びないですむかもしれない。神は私たちと取引するだろうか。私たちと何かを交換し、思いを変えられる方だろうか。商取引するお方だろうか。

ありえない、の一言に尽きる。そもそも、私たちと商取引する必要が全く無いお方である。しかし、ここでは、神が思い直して、と姿勢を変えたように思える。私たちへの扱いを変えられるようにも思える。怒りからあわれみ、それゆえに滅びから逃れることができる。

神は私たちと取引されたらだろうか。そうではない、もしかすると、と望みを神に持つ者たちがところを入れかえたから、悔い改め神に帰ったから、神のあわれみによって、怒りから滅びて当然の身から救われたのである。

神は変わらないで、私たちが神に立ち返ることを望んでおられる。変わらない神だからこそ、私たちは取引ではなく、ただ悔い改めて御元に帰ることができる。あわれんでくださり、変わらず待ってくださる愛の神である。